



あなたのこれからをいつまでもサポート。

らいさぽNEWS

ブックカフェ来茶舗でお待ちしております

会員 井上真弓・高橋恵美子



独立行政法人社会福祉医療機構(WAM)の助成金を受けて、平成28年10月23日に開店した「ブックカフェ来茶舗(らいさぽ)」も、3月で6ヶ月目となりました。

介護家族を対象に、「場」の3つのコンセプト「介護に係わる方々の息抜き」「介護に関する情報交換」「レンタルスペース」を柱にスタートしたこの店舗。開店前から現在までの間、どのようなトピックスがあったのかを皆様にお伝えします。(お店の様子はP4に)

■地域との連携その1

9月27日(火)、第1回連携団体連絡会議を開催。品川区社会福祉協議会、東京都行政書士会品川支部、東京都社会保険労務士会品川支部、かもめ第一工房、街活プランナーズ、居宅介護事業所いずみの6団体の皆様にお越しいただきました。当事業の説明の後、助成金事業委員会委員10名を含め意見交換が行われ、オープンに向けた課題把握、情報共有ができました。

■お店の様子 ～開店前から現在まで～

開店前には、プレオープン期間として、広告宣伝等は一切せず、店を開けて、毎日どのような人たちがどのくらい店の前を往来するのか様子見をしました。店の周辺には、保育園や老人クラブなどがあり、子育てママや高齢者の方たちの利用もありそう…という期待が持てる一方で、人通りが少なそうだが、お客様は来るだろうか…とドキドキしながらの数日間でした。

そして、迎えた開店の日は、戸越公園駅周辺で店のチラシを配布したり、来店客へのシフォンケーキプレゼントを用意したりする中、予想以上の来店人数を獲得しました。

11月以降は、メニュー開発や、蔵書選択等に引き続き力を注ぐ一方、店の存在をもっと地元で周知するイベント等を企画し、毎月定期的な催し物を実施しています。

12月17日(土)には、いずみサポートケアマネージャー内藤嘉奈子氏、社会保険労務士喜多村郁子会員による「介護・年金の無料相談会」の第一弾を実施しました。同相談会は、平成29年1月28日(土)、2月25日(土)と継続開催されています。

新年明けて1月21日(土)、初めての「青空市」を開

催しました。品川支部行政書士熊谷祐子氏によるおしるこサービス(その後当法人会員になりました)、「プチレーブ」の焼きたてパン(障害者の自立支援施設で製造)と「かもめ工房」のクッキー販売、そして、産直野菜を店頭販売しました。地元の方々からは、「定期的にこのような市を開いてほしい。」と好評でした。同日、神野由美子会員による「相続・遺言・成年後見の無料相談会」も初めて実施されました。2月18日(土)は、根本妃佐子会員による同相談会が実施され、今後も継続予定です。

1月24日(火)には、ヨガインストラクター・介護予防運動指導員 玉生愛弓会員による「健康体操で毎日元気!!」教室が開催されました。同教室は、2月28日(火)にも実施され、これからも定期的に開催予定です。

■地域との連携その2

平成29年1月31日(火)品川区シルバーセンターゆたかを会場に「家族介護者支援のブックカフェ運営事業セミナー」を開催しました。セミナーに先立ち、ブックカフェ来茶舗の内覧会も併せて行い、現地の雰囲気も感じていただけたよう企画しました。

セミナーには、品川区地域活動課、品川成年後見センター、成幸在宅支援センター、杜松在宅支援センター、東京在宅サービス、街活プランナーズの各団体の皆様と品川区議会議員、行政書士品川支部会員をお迎えし、主催側は平松理事長以下12名が参加しました。自由討論会の形式でそれぞれの立場からご意見をいただき、今後の可能性を考える貴重な機会となりました。

■助成金委員会のこと

田村通彦委員長のもと13人の委員が、平成28年7月5日の第1回から平成29年2月24日の第9回まで委員会での協議を重ねたほか、割り振りされた担当ごとに各々開店の準備、その後の広報企画などを進めてきました。現在の現地のカフェ運営は佐々木加奈子会員、立山昭浩会員、熊谷祐子会員が中心となり対応しています。

最近では介護のことをお話されるお客様、また、車椅子の方、お子さん連れの方も来店されるなど、少しずつではありますがコンセプトに沿った店の今後の展開に手ごたえを感じてきているとのことでした。

ライフサポート東京の組織について

らいさぽ NEWS をご覧の皆様、ライフサポート東京の現在の組織について、あらためてご紹介いたします。

- ★ ロゴマークに込めた想い ライフサポート東京の姿勢・方針としてぴったりなのが、四つ葉のクローバーの象徴する「希望・誠実・愛情・幸運」。ご本人の希望・幸運を誠実・愛情をもって支援していきたい。また、ご本人様・ご親族・行政・民間事業者を四つ葉のクローバーの4枚の葉に見立て、ライフサポート東京が4枚の葉をつなぐ架け橋でありたいという気持ちを込めて、虹の架け橋をあしらいました。
- ★ キャッチフレーズ あなたのこれからをいつまでもサポート

- 理事長：平松太郎
- 副理事長：田村通彦
- 監事：三輪鉄郎、喜多村郁子
- 普及事業部・広報部
統括理事：金子琢哉
- 事務局長：笈川信孝
- 会計：荒谷泰子

《事務局》

業務内容：事務局は法人の運営がスムーズにいくように下記の内、対外活動を行っております。

対内：入退会、案件等の手続き。総会、研修会等の資料の準備、まとめ、集計等。

対外：新規案件の相談、受諾。家裁、行政、社協等関係団体との打ち合わせ等。

局員：笈川信孝（事務局長）、荒谷泰子（経理課長）、吉信真理子、松田明男（業務課長）、黒木公一

・財産管理事務協力員

業務内容：9のつく日（9・19・29日、土日祭日の場合は前日）に法人管理通帳の財産管理業務、月初には通帳記帳に駆け回っております。

・緊急時対応協力員

業務内容：被後見人等の緊急時に担当者が対応できない場合の対応。

また、下記のような委員会等がございます。

・体制委員会

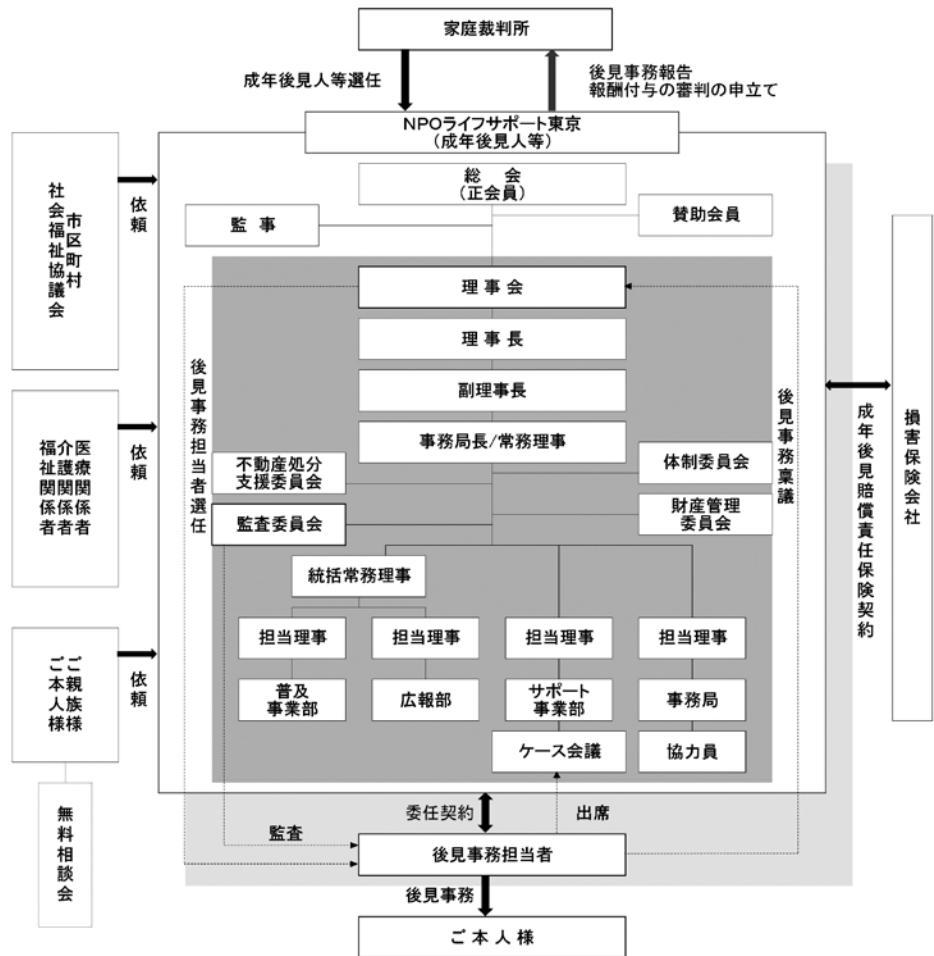
業務内容：内部体制、フロー、様式等の整備。

・監査委員会

業務内容：1案件につき3か月に1度定期監査、1案件につき1年に1度個別監査を、毎月実施しております。

・不動産処分支援委員会

業務内容：法人で管理している被後見人等の所有不動産



の処分にあたり、宅地建物取引士である会員が専門知識をもって、適正な取引のための手続きを支援しています。

・財産管理委員会

業務内容：法人で管理している被後見人等の財産の適正な管理・監督を行っています。また、会員が使用する成年後見システムの運用管理も担当しています。

《普及事業部》

業務内容：成年後見制度の普及と活用、また地域ネットワーク形成を目的とし、相談会等の実施や場合により渉外活動を行っています。また、法人内部では合唱部を新たに発足し、会員間の交流を図りつつ関係諸施設での披露を目論んでいます。

部員：関孝和（部長）、谷治博史、古谷進、杉本佳久、立山昭浩、井上真弓、鳥飼さつき、佐藤絵里、西口由季

《 広報部 》

業務内容：成年後見制度の普及促進と当法人の事業紹介を目的とした対外的広報を担っています。具体的には、らいさぼ NEWS やパンフレット、リーフレット及びチラシ等紙媒体などの制作及びホームページや Facebook 等 Web 媒体の管理を行っています。平成 29 年度は、更なる普及・広報のための新しい広報活動の検討を行う予定です。皆様には、ニュース等広報媒体について「こんな情報が欲しい」「こうしたら良いのでは」等、ご意見ご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

部員：大松香織（部長）、神野由美子、西口由季、島村かおる

《 サポート事業部 》

業務内容：法人内部的に会員のサポートをすることを目的としています。具体的には、研修会の開催、初めて後見事務を担当する方の初任者サポートの実施、後見事務担当者が出席するケース会議の運営などを行っています。平成 29 年度は、既存の担当者のレベルアップのために情報交換会をはじめ様々な企画を考えていますので、会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

部員：中道基樹（部長）、巴陵益克、谷家幸子、遠田武史、小川雅之、福本学、岩元佳代、苅谷美樹

【部活動もあります!】

・ライサポテニス同好会（LTD）

会員相互の交流と健康づくりを目的とし定期的に開催しております。

・バトミントン倶楽部

会員相互の交流と健康づくりさらに関係団体との交流を目的として開催しております。

・らいさぼ合唱部

会員相互の交流を目的とし、将来的には施設等への慰問や合唱祭への出演を目指して練習しています。

…こぞってご参加ください!



「しながわ夢さん橋2016」に参加して

会員 鈴木正子

～ 初級業務研修を終えた会員によるイベント初参加レポートです。（イベント参加時は研修中）～

前日の冷たい雨も上がった10月10日（月）体育の日。第29回「しながわ夢さん橋2016」に出展するライフサポート東京のお手伝いに参加しました。

「しながわ夢さん橋2016」とは、ライフサポート東京の事務局があるJR大崎駅南口を中心とした、秋の一大ビッグイベントです。

まずは、事務局があるビルに集合して荷物を搬出します。お借りしたブースは、夢さん橋の中央部に位置し目立つ場所にありました。参加者全員でわいわいがやがや言いながら、のぼりを立て、幕を張り付け、机やイスを配置してセッティング完了。無料相談会の開始です。

人通りの多い場所で果たして相談者が来るのか?という全く初心者の方のわたしの心配をよそに、相談者が続々と。先輩が相談を受けている場に同席させていただきました。ゆっくりとした口調、やさしい笑顔をやさしい、相談者と同じ高さの目線で話す、的確なアドバイス。自分と重ね合わせ、非常に学び多い時間を共有させていただきました。



ブース前の鈴木会員

スクエア型のポケットティッシュには、成年後見制度をわかりやすく解説した3つ折りリーフレットを半分に折って入れ、道ゆく人々に配りました。またブックカフェ来茶舗のチラシも配り、興味を示してくださる方に嬉しくなりました。

「認知症ゲーム」、体と頭の体操です。簡単そうに見えて、実際やると難しく大人もはまります。親子で楽しむ参加者もあり、思わず応援。地域の皆さまと交流を図りました。

あっという間の1日でした。日ごろお目にかかれない会員の方や、同じ初級研修生とも交流ができて有意義な時間でした。ありがとうございました。

会員の皆さま、お時間があるようでしたら是非、来年の参加をご検討ください。



当日の様子

